

一般社団法人日本解剖学会 2023(令和5) 年度第4回常務理事会議事録

日時：2023(令和5)年6月24日（土）13:00～16:30

場 所：一般財団法人口腔保健協会 302会議室（オンライン併催）

現地出席者：寺田 純雄（理事長）、仲嶋 一範、福田 孝一、大和田 祐二、尾崎 紀之（以上、常務理事）、

、竹林 浩秀、大野 伸彦（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

オンライン出席者：市村 浩一郎（常任幹事）

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2023(令和5)年度第2回常務理事会（2023(令和5)年3月17日開催）議事録（案）
- (2) 2023(令和5)年度第2回理事会（2023(令和5)年3月17日開催）議事録（案）
- (3) 2023(令和5)年度定時社員総会（2023(令和5)年3月18日開催）議事録（案）
- (4) 2023(令和5)年度第3回理事会（2023(令和5)年3月18日開催）議事録（案）
- (5) 2023(令和5)年度第3回常務理事会（2023(令和5)年3月18日開催）議事録（案）
- (6) 2023(令和5)年度第4回理事会（2023(令和5)年3月18日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

・令和5年3月分

入会者：正会員 2名、学生 6名

退会者：正会員 13名、学生 3名

・令和5年4月分

入会者：正会員 6名、学生 1名

退会者：正会員 7名、学生 1名

・令和5年5月分

入会者：正会員 1名

退会者：正会員 2名

・逝去会員 2名

坂本 裕次郎 氏（東京医歯大・歯・口腔保健衛生基礎学/正会員）令和4年8月5日逝去（満60歳）

山田 英智 氏（東京大・名誉教授/名誉会員）令和5年6月16日逝去（満101歳）

・新規就任教授 1名

井上 浩一 氏（奈良県医大・解剖1・教授 令和5年8月1日就任）

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会事務局で保管、ホームページ掲載などの対応を行っていることが報告された。

・通知、依頼：男女共同参画学協会連絡会より「若手雇用問題要望書（案）の事前投票について」他91件

・書籍、定期通信 他：（独）日本学術会議より「学術の動向2023.3」他14件

(3) 2023(令和5)年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき開催予定が報告された。なお、関東支部会学術集会は9月2、3日開催の予定だったが、新潟開催の他のイベントとの重なりがあり、9月3日の開催にさせて頂きたいという希望がだされ、承認された。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会（編集委員会、認定解剖組織技術者資格審査委員会、解剖体委員会、解剖学用語委員会、海外交流委員会、教育委員会、若手育成委員会、アウトリーチ委員会、学術委員会、医療専門職教育委員会、倫理委員会/利益相反委員会、ASI編集委員会、ダイバーシティ推進委員会）の議事が報告された。

(5) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、井関祥子先生が出席された男女共同参画学協会連絡会の第21期 第2回運営委員会についての報告がなされた。

(6) 「若手研究者の会」報告

資料に基づき、第129回日本解剖学会総会・全国学術集会にて予定されているプレミアムセミナーの内容（仲嶋一範先生、川口綾乃先生）、及び春の学校の事後アンケートの結果が報告された。

(7) 「女性研究者の未来を語る会」について

ダイバーシティ推進委員会の委員から、女性研究者の育成や情報交換のため、新型コロナ禍により活動が休止になっていた「女性研究者の未来を語る会」を再開したり、若手の会の掲示板を活用する提案がなされたことが報告された。

(8) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、ASI 98巻3号が6月26日に発送予定であること、9月に、解剖学雑誌98巻2号とASI 98巻4号が刊行予定であること、解剖学雑誌98巻2号の記事について報告された。

(2) 学術論文データベース「EBSCOhost」への解剖学雑誌収載について

資料に基づき、米国EBSCO（エブスコ）社から提案された学術論文データベースにおける解剖学雑誌のコンテンツ公開は行わないことが報告された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2023(令和5)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について

資料に基づき、奨励賞は9月29日（金）正午締め切りで募集を行うことが報告された。

(2) 2023(令和5)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、6月30日（金）必着で募集を行うことが報告された。

(3) 2023(令和5)年度第128回総会・全国学術集会終了報告

第128回総会・全国学術集会（会頭：東北大・大和田祐二氏、会期：2023年3月18日～20日）が予定どおり終了したことが報告された。

(4) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、第129回総会・全国学術集会（会頭：琉球大・高山千利氏、会期：2024年3月21日～23日）における、指定・企画シンポジウムの内容や公募シンポジウムの公募が開始されたことが報告された。また、開催地が沖縄県であり、航空券や宿泊施設を確実に予約できるよう、プログラムの確定を例年よりも早い時期に行う予定であることが報告された。

(5) 2027(令和9)年度第132回総会・全国学術集会開催校募集について

資料に基づき、第132回総会・全国学術集会の開催校の募集を開始したことが報告された。

(6) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会連合2023年度定時社員総会（2023年6月23日開催、大和田常務理事出席）や不適切用語を含む医学用語の検討ワーキンググループ・キックオフ会議（2022年12月22日開催、香川大・三木崇範氏出席）、第7回研究倫理教育研修会（2023年6月1日開催、大和田常務理事出席）の内容が報告された。なお、不適切用語を含む医学用語の検討ワーキンググループの次期委員を引き続き三木氏に依頼することとなった（2025年5月31まで）。解剖学会の参加する加盟学会連携フォーラムとして、第101回日本生理学会大会（会期：2024年3月28日～30日）ならびに第97回日本薬理学会年会（会期：2023年12月14日～16日）における連携フォーラムの開催を日本医学会連合に申請したことも報告された。

(7) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、第27回定例会議（2023年3月28日開催、大和田常務理事出席）の内容が報告された。また、生科連が発出を予定している日本学生支援機構の大学院生向け奨学金の貸与期間についての要望書（案）に対する各加盟学会からの賛否・意見が報告された。

(8) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、第26回評議員会（2023年3月30日開催、寺田理事長・仲嶋常務理事出席）の内容が報告された。

(9) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、以下のことが報告された。

・ KAA（韓国解剖学会）：

渡辺前理事長を通じて、KAAより、第73回大韓解剖学会学術大会内で実施する「日中韓合同シンポジウム」演者選出依頼があった。会員各位に応募を募った結果、以下2名より応募があった。海外交流委員会で選考した結果、両者を本学会演者として推薦した。

小山佳久 先生（大阪大学大学院医学系研究科神経細胞生物学講座）

岩永 譲 先生（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面解剖学分野）

・ APICA（アジアパシフィック国際解剖学会議）：

第10回APICA（会期：2023年11月30日～12月3日、場所：ダニーデン（ニュージーランド））の抄録提出締め切りが6月30日であることやScientific Advisory Boardとして大和田常務理事（企画渉外担当）を推薦したことが報告された。

- ・ IFAA（国際解剖学会議）：

日本解剖学会は現在IFAAに加盟していないが、会費納入の通知が届いたことが報告された。

（10）日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、CST推進委員会の各領域におけるCST計画の審査結果が報告された。

（11）その他

特になし。

4. 会計報告

（1）2023(令和5)年度中間決算書について

資料に基づき、2023（令和5）年度中間決算（1月1日～5月31日）が報告された。

（2）日本解剖学会教育に関するアンケート調査結果（速報）について

資料に基づき、教育に関するアンケート調査（2月20日～3月14日実施）の速報結果が報告された。

（3）その他

特になし。

5. 理事長報告

（1）日本医学教育評価機構（JACME）策定評価項目への解剖体台帳チェック導入について

資料に基づき、JACMEの基準要項検討会で、死体解剖保存法を満たす解剖体台帳のチェックが評価項目に加わったことが報告された。

（2）その他

特になし。

Ⅲ. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、令和5年3月1日から5月31日までに入会申請のあった一般会員9名、学生会員7名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。

2. 特別事業積立金（終身会費口座）の予算計画について

資料に基づき、特別事業積立金（終身会費口座）の本年度予算計画（全国学術集会への子連れ参加支援、人体解剖セミナーへの若手研究者の参加旅費支援、若手研究者主催による異分野交流シンポジウム開催費用）が了承された。また、特別事業積立金（一般口座）からの若手向け予算と、特別事業積立金（終身会費口座）の使途の切り分けについて審議され、前者は主に若手研究者の会の活動・運営に関わる経常的費用に、後者は主に学会の若手研究者一般を対象とする育成支援に係る企画の費用に充当することとなった。

3. 各大学の倫理審査に関するアンケート実施について

資料に基づき、ご遺体を使用した人体の構造に関する研究および手術手技研修（CST）についての倫理委員会申請状況に関わるアンケートの内容および実施について審議され、質問内容を一部修正して実施することが提案されて承認された。

4. 男女共同参画学協会連絡会における今後の対応について

資料に基づき、オブザーバー資格に関する男女共同参画学協会連絡会からの返答をふまえ、今後は正会員継続もしくは退会の選択肢を含めて、生命科学系の他学会の動向をみながら方針を検討していくことが了承された。

5. 解剖学雑誌目次のindex化について

国立国会図書館で既に目次内容が検索可能になっていることから、会員ページ内に同検索サイトへのリンクを貼ることで対応することが了承された。

6. 第129回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査について

資料に基づき、申請のあった7件（日本顕微鏡学会連携シンポジウム、日本生理学会・日本薬理学会連携シンポジウム、ダイバーシティ推進委員会シンポジウム、海外交流委員会による日韓シンポジウム、教育委員会によるシンポジウム、若手育成委員会シンポジウム、ASI編集委員会・解剖学用語委員会シンポジウム）全てを採択することが承認された。

7. 男女共同参画目的の理事長推薦理事の処遇について

資料に基づき、定款第18条の規定数を充足する数（事実上3名まで）を上限として、理事長が理事を追加推薦可能である制度を来年3月からさらに6年延長する方針について、次回の理事会に諮ることが承認された。

8. ASIの契約更新について

資料に基づき、シュプリンガーとの2018-2024年度の7年契約を更新する方針について、次回の理事会に諮ることが承認された。

9. その他

次期ASI編集委員長を決めてほしいという現ASI編集委員長からの打診について、従来の就任条件の緩和も考えながら、過去の委員も含めて適任者を検討していく方針が承認された。

次回常務理事会 9月16日（土）13:00-16:00@口腔保健協会302会議室